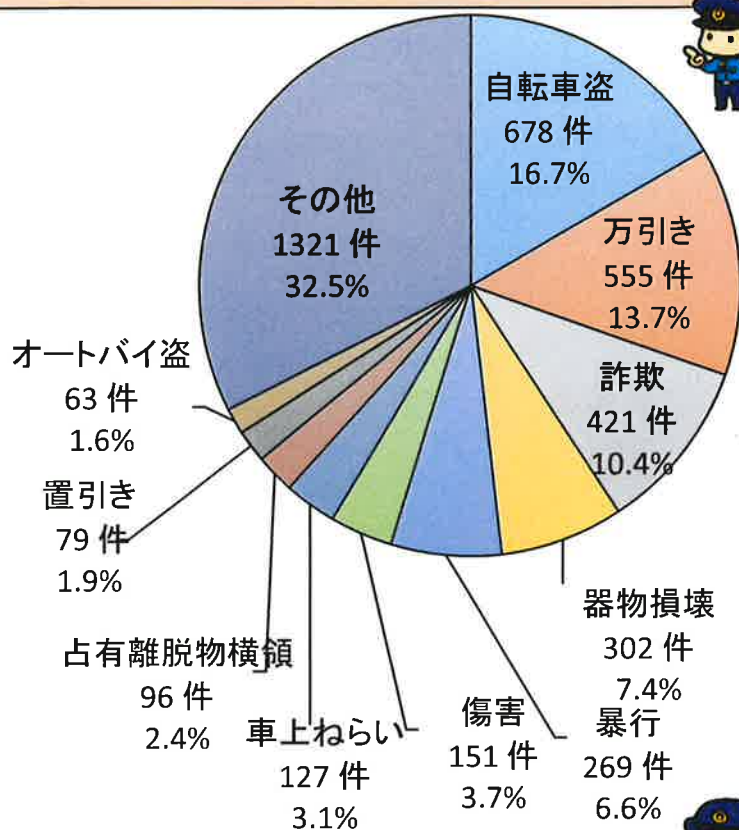


和歌山県の犯罪



犯罪発生件数は低水準で推移



令和6年中に県下で認知した刑法犯は4,062件となり、低水準で推移しています。ひとえに県民の方々の防犯意識の向上、関係機関や自主防犯ボランティア団体の各種取組、街頭防犯カメラの普及などによるところが大きいと感じています。

安全で安心な和歌山県をつくるためには、警察や行政機関、防犯ボランティア団体の連携はもちろんのこと、何より県民の皆様の御協力が必要です。家から外出する時、自転車を駐輪する時、駐車した車から離れる時は鍵をかけるなど、何気ない普段の生活から防犯の意識を持っていただくようお願いいたします。



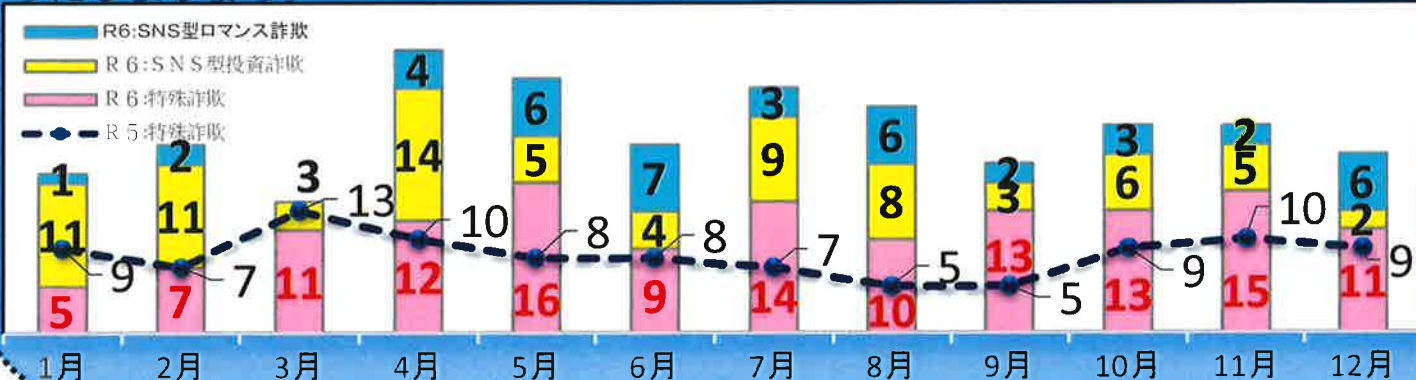
自転車には必ずカギをかけて!

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺が大幅増加



令和6年中の県下の特殊詐欺被害は136件、被害額は約6億3,300万円でした。前年に比べ、36件増加しており、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害は123件、被害金額は約9億9,800万円で危機的な状況が続いています。

令和7年も依然として、県下において警察官を騙ったり、身近な家族を騙った詐欺被害が発生していますので、下記のところにアクセスして被害に遭わないようにしましょう。



特殊詐欺被害防止専用
ダイヤル これは わなや
0120-508-878

X (旧Twitter)



防犯メール



けいさつからの防犯情報
など色々配信されるよ。
登録してね。

令和6年の少年非行

刑法犯犯罪少年243人、刑法犯触法少年83人の計326人を検挙・補導

（刑法犯犯罪少年：刑法に定める罪を犯した14歳以上20歳未満の者）
（刑法犯触法少年：刑法に定める罪に抵触する行為をした14歳未満の者）

★少年の犯罪状況

令和6年中に検挙した刑法犯犯罪少年は243人で、前年に比べ18人増加しました。

刑法犯触法少年は83人で、前年より6人増加しています。

刑法犯検挙者に占める少年の割合は13.7%で、前年より増加しています。

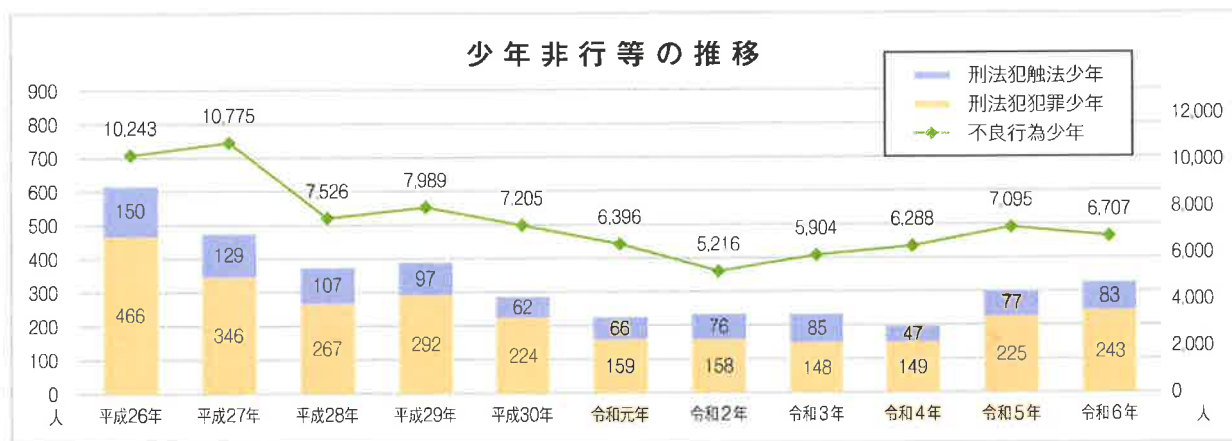
刑法犯犯罪少年の再犯者率が35.0%となっており、非行を繰り返す少年の割合は、前年より減少しています。

★不良行為少年が増加

令和6年中の不良行為少年は、6,707人で、前年に比べ388人減少しました。

行為別では、「深夜はいかい」と「喫煙」の割合が依然として高く、全体の94.9%を占めています。

少年の非行を防止するためには、その入口となる深夜はいかい、喫煙等の不良行為の段階での措置が重要であり、警察では街頭補導活動を強化しています。



★非行少年を生まない社会づくりの推進

少年非行の背景には、少年の規範意識やコミュニケーション能力の低下、孤立など様々な理由があり、少年を取り巻く環境が大きく関係しています。

少年の健全育成のためには、これらの問題に対して社会全体で取り組む必要があります。警察では、少年補導員を始めとする地域の皆様方や関係機関と連携して、「非行少年を生まない社会づくり」を推進しています。

★少年に手を差し伸べる支援活動

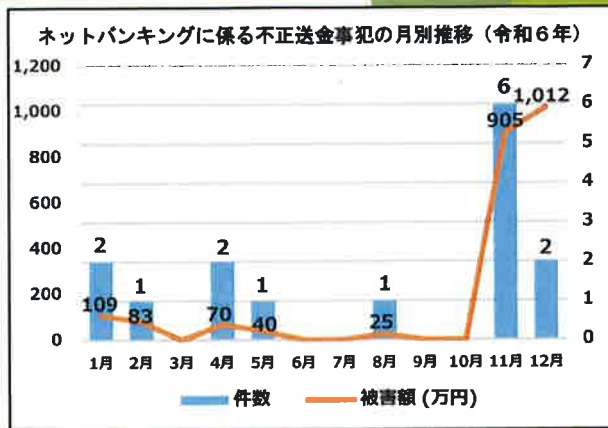
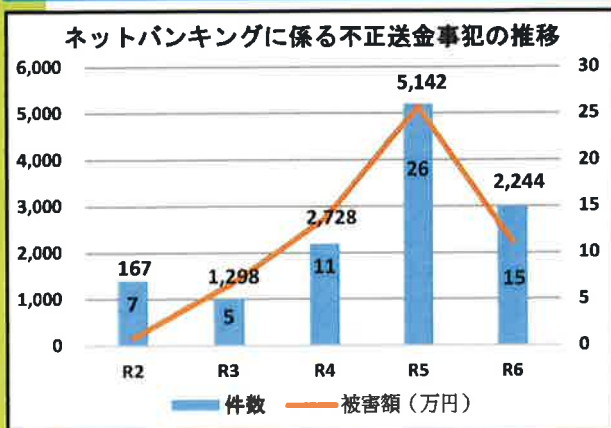
警察では、検挙・補導した少年や悩みを抱えた少年らと積極的に連絡を取り、社会奉仕や生産体験、学習等の様々な活動を通じて、少年自身が目標を見出すことに繋げる支援活動を行っています。活動は、少年補導員や学生サポーターなどのボランティアや有志の方々の協力を得て、立ち直りや健全育成を支援しています。

★サイバーパトロールの強化

インターネット利用をきっかけとした少年の性被害や薬物乱用が深刻化しており、これらを未然に防止するため、ネット上におけるサイバーパトロールを強化しています。



ネットバンキングに係る不正送金事犯について



令和6年中の県内におけるインターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害状況については

被害件数 **15件** (前年比-11件)

被害額 **2,244万円** (前年比-2,898万円)

と令和5年を下回りました。

しかし、11月以降

被害件数8件、被害額1,917万円

と被害が多発しており、予断を許さない状況にあります。



不正送金の被害は**フィッシング**によるものです！



フィッシングとは、実在する企業やサービスを装ったメールやSMSなどでフィッシングサイトに誘導し、個人情報盗み出す手口です。

最近では、銀行担当者を装い電話をかけ、メールアドレスを聞き出してからフィッシングメールを送信し、フィッシングサイトに誘導した後、インターネットバンキングの利用に必要な情報等を入力させて盗み取る**ボイスフィッシング**の手口も確認されています。

フィッシングサイトの画面は本物そっくりに作られ、見抜くのは難しいので、**メール等に記載されたURLは信用せず、そのURLにリンクするサイトには、個人情報を絶対に入力しないこと**を心がけてください。

入力してしまうと、その情報が悪用され不正送金されてしまいます！

ヘルプ

を名乗る偽メールにご注意ください！
(8月3日更新)

くわしくはこちら

店番 口座番号

半角数字3桁 半角数字7桁

または

ご契約番号

半角数字

ログインパスワード

半角英数字・記号4～16桁

ログイン

ポスター・青パト写真・標語を募集します!

課題

- ポスター ① 様々なかたちの防犯ボランティア活動
～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～
青パト写真 ② 青色回転灯等装備車の活躍
標語 ③ 暴力団のいない社会づくり

◆応募資格 問いません。

◆応募のきまり (未発表の作品に限ります。原則として応募作品はお返ししません。)

応募作品の裏面に、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、職業または学校名、学年を明記してください。

○ポスター

- ・デザインは、四切サイズ(540mm×380mm)のヨコ描き。
(規格外は審査対象外となります。ご注意ください)
- ・作品にスローガン(キャッチコピー)等の文字は入れないでください。

○青パト写真

- ・応募は、一人5点まで。
- ・カラープリントA4サイズ。
(規格外は審査対象外となります。ご注意ください)
- ・デジタル写真可。(ただし印画紙にプリントしたもの)
- ・所定の応募票を作品のウラに貼付のうえ、郵送で応募。
(応募票は全防連HPからもダウンロードできます)

○標語(キャッチコピー)

- ・応募は、一人1点。
- ・郵便はがきか、はがき大のものにタテ書きで、一枚の用紙に1点のみお書きください。

～昨年の作品例です～

■ポスター

様々なかたちの防犯ボランティア活動



■青パト写真



■標語

- 暴力団 断ち切る勇気が 未来を創る
- おそれない 小さな勇気で 大きな1歩
- 暴力団 なくして安心 街づくり

◆表彰 各課題ごとに全国表彰があります。

◆送付先 〒640-8157 和歌山市八番丁9番地 パーク県信ビル411号室 公益財団法人 和歌山県防犯協議会連合会

◆締切日 令和7年6月6日(金) 必着

寄付型自動販売機設置のお願い

県防連では、寄付型自動販売機「安全安心わかやま支援自動販売機」の設置企業・団体様又は個人様を募集しています。

飲料の販売手数料収入から一定額を寄付していただくというものです。

この寄付金は、各種犯罪予防活動等に活用いたします。



賛助会員募集中

県防連では、「みんなでつくろう安心の街」を合い言葉に、犯罪知識の普及など総合的な地域安全対策に取り組んでいます。

この趣旨に賛同いただける「賛助会員」を募集しています。年会費は1口 5,000円からです。

県防連への寄付及び賛助会費については課税優遇措置の対象となります。